

新所長・新副所長が就任しました



所長 中尾 賀要子

所長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

女性活躍総合研究所は、これまで女性のキャリア支援、子育て支援、グローバル化推進など、多岐にわたる活動を展開し、着実な成果を上げてまいりました。SOARプログラムによる学生の意識改革、国際女性デーMUKOJOフォーラム、異分野交流会、多様性セミナーなど、本学の特色を活かした取り組みは、学内外から高く評価されています。

新体制のもと、これまでの蓄積を大切にしながら、さらなる発展を目指してまいります。女性が生涯にわたって活躍できる社会の実現に向け、所員一同、研究に邁進してまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

副所長 長谷川 裕紀

この度、女性活躍総合研究所の副所長を拝命いたしました。本研究所のこれまでの取り組みをさらに発展させ、教育・研究、地域社会との連携を通して、女性の多様なキャリア形成を一層促進し、その成果を社会に還元できるよう、全力を尽くしてまいります。

また、総合大学である本学の幅広い知の強みを活かし、分野横断型の研究を推進することで、女性活躍に関する学術的知見の発信に尽力してまいります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



新研究員のご紹介

■本年度より、新たに2名の先生方を研究員としてお迎えしました



次世代女性人材育成部門
仁木 洋子
薬学部健康生命薬科学科
准教授

専門領域

- ・化粧品科学
- ・皮膚科学
- ・色素細胞学



私は皮膚科学の視点から化粧品の有効性を研究しています。毎日使う化粧品には、外見だけでなく心に作用し、自信や自己表現を育む奥深さがあります。この研究を通じて、性別や年齢、背景に関わらず誰もが自分らしく輝き、活躍できる社会の実現に貢献したいと考えています。

美のサイエンスで、誰もが自信を持って活躍できる未来を共に創造してみませんか？



ジェンダー平等推進部門
三宅 弘晃
文学部英語グローバル学科
准教授

専門領域

- ・英語語用論
- ・英語談話分析



本年度より女性活躍総合研究所の研究員を拝命しました三宅です。ちょうど「皆学化」が発表された時期での参画となりましたことにご縁を感じております。

女性はもちろん、誰もが輝ける武庫川の実現に向けて、微力ながら尽力してまいります。

よろしくお願いいたします。

■ 特別プログラム「MUKOJOミライ☆ラボGirls' day/Boys' day」を開催しました

5月24日(土)にキッザニア甲子園と連携し、小学生対象の「Girls' day/Boys' day」を開催しました。

本プログラムは、職業選択における性別の固定観念をなくし、興味や才能に基づいたキャリア形成を促すことを目的としています。女子児童は男性が多い分野の職業を、男子児童は女性が多い分野の職業を体験しました。

職業体験後にはジェンダー・ギャップ指数に関する説明を行い、将来の仕事や職業をジェンダーの視点から考える機会を提供しました。参加した男子児童からは「病院で赤ちゃんの世話をするのは、男も女も関係ないと思った」との感想が聞かれ、自動車整備士を体験した女子生徒は「男性の仕事と思っていたが、女性にもできる仕事だと思った」と語るなど、性別にとらわれない職業観の醸成に繋がる体験となりました。



特別プログラム



■ 中学生を対象にキャリア意識の改革を目的とした出前授業を開催しました



7月8日(火)、西宮市立浜甲子園中学校3年生を対象に、三井住友銀行様と本学建築学部の教員にキャリアについて話していただきました。また、7月10日(木)には、芦屋市立精道中学校2年生を対象に、神戸新聞事業社様、牛乳石鹼共進社様、阪神電気鉄道様、ぼうしや薬局様、みなと銀行様、建築学部教員に協力いただき、出前授業を実施しました。

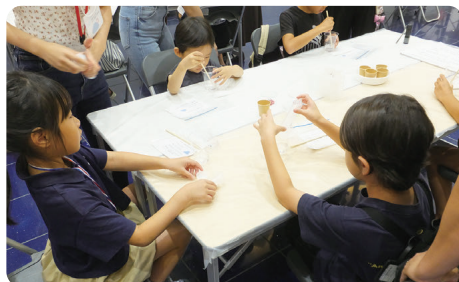
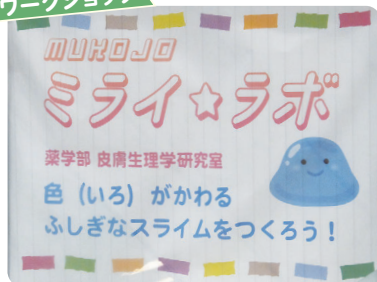
(次世代女性人材育成部門・和泉 志穂)

■ 小学生と保護者を対象に、サイエンスへの関心を高めるワークショップを開催しました

8月7日(木)、ららぽーと甲子園にて、親子ワークショップ「色が変わるふしぎなスライムを作ろう!」を薬学部皮膚生理学研究室の学生と共に開催しました。

参加者の皆さんは、学生から紫外線の体への影響や太陽の光で色が変わるふしぎなスライム作りの説明を聞いた後、作業に入りました。当日は4回の開催すべてが満員となり、会場はたくさんの親子連れの熱気に包まれました。

(次世代女性人材育成部門・仁木 洋子)



オンデマンドによる英語チューターについて

グローバル化推進部門では、英語学習支援として、オンデマンドチューターによる英語個別指導を従前より実施しています。講師は英語グローバル学科非常勤講師のアンドリュー・イネス先生で、本学大学院生や教職員を対象に、毎月2回程度オンラインで開催しています。令和6年度は通年で16コマ実施し、うち大学院生5コマ、助手4コマ、助教以上の教員6コマ、事務職員1コマのご利用がありました。

受講者からの声としては、懇切丁寧なオンデマンド指導、ネイティブならではのアドバイス、分かりやすい解説などの高い評価を受けていますが、毎月の最大開催コマ数にまだ余裕があります。受講料は無料です。英語発表や英語論文の添削、海外出張時の英会話練習などの種々の機会に、是非お気軽にお申し込みください。詳しくは、右のQRコードをご参照ください。

(グローバル化推進部門・吉田 徹)

「オンデマンドチューター」HP▶



■ 全新入生対象SOAR導入講義 4月5日(土)

今年で4回目となるSOAR導入講義を公江記念講堂において行いました

女性を取り巻く現状や課題を学生たちに知ってほしいと本研究所が主催するこの教育プログラムは、MUKOGAWA COMPASS が掲げる「自ら考え、動く」女性の育成を目指しています。講義冒頭で、高橋学長より SOAR は本学独自の基盤教育であることを伝え、「気づき」、「自分らしさ」、「将来の自分」を考える機会にしてほしい、と呼びかけました。

今年から登壇者に中尾賀要子教授が加わり、また、ハンドブックの表紙も新しくなりました。



～ 講義内容 ～

- ①「SOARの概要」 高橋享子 学長
- ②「ジェンダーとセクシュアリティ」 中村明美 教授
- ③「仕事環境とキャリアデザイン」 高橋千枝子 教授
- ④「ライフプランと法律」 中尾賀要子 教授

本講義を学生や教職員も視聴できるよう、後日動画配信しました。



■ 共通教育「SOAR 人生100年をきり拓く力」履修枠が150名 → 200名に

<令和7年度前期>

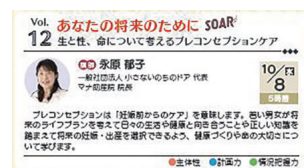
	1年	2年	3年	4年	5年	合計
受講生数(人)	20	92	52	35	1	200

※200名の定員に約750名の申し込みがありました。

第15回授業はリアルタイムでの開催。学生たちはグループに分かれてのディスカッションを通して、様々な意見を出し合い、考えを深めました。

■ 10月8日(水)5限 キャリアセンター「わたしプロデュース!」に講座を提供

「あなたの将来のために～生と性、命について考えるプレコンセプションケア～」
永原郁子先生(公益社団法人 小さないのちのドア代表理事/マナ助産院院長)



「MUKOJOロールモデルブックvol.7」WEB掲載中です

研究所のWEBサイト内「ロールモデルブック」では、社会で活躍する卒業生を紹介しています。将来に向けてどのように大学で学び、仕事を選び、今どのようなワーク・ライフなのか、学生へのアドバイスも頂戴しました。随時WEB掲載しておりますので、右のQRコードより是非ご覧ください。

また、「ロールモデルブック」(WEB版)の案内カードを作成し、キャリアセンター内、アゼリア前等に設置しました。



「ロールモデルブック」HP▶



今後の予定



- ◆ 10月 9日(木) SOAR導入講義(附属高校)
- ◆ 10月11日(土) プレ社会人のためのスマートマナー講座(文化祭)
- ◆ 2月 8日(日) 第14回異分野交流会
- ◆ 3月14日(土) 第6回国際女性デー MUKOJOフォーラム



研究所部門紹介

生涯活躍推進部門

1. 研究者の研究活動を推進するための環境整備に関する調査研究・支援
2. 女性のキャリアに関する調査研究、キャリア開発支援
3. 外部機関と連携した女性のキャリア開発プログラム



部門リーダー
宇野朋子
(建築学科)



竹本由美子
(生活環境学科)



吉田都
(薬学科)



高橋千枝子
(経営学科)



吉井美奈子
(教育学科)

グローバル化推進部門

1. 実践的な英語口語能力を高める教材の研究開発
2. 英語による発表能力を高める啓蒙セミナーの企画開催
3. 国内外における英語発表の試験的な企画提供



部門リーダー
吉田徹
(食創造科学科)



アニータ L.
エイデン
(共通教育部)



田中真由美
(英語グローバル学科)



クリストファー M.
エドルマン
(英語グローバル学科)

次世代女性人材育成部門

1. 小学生向けGirls' day/Boys' day教育プログラムの開発
2. 小学生～高校生対象のキャリア教育プログラムの開発研究



部門リーダー
和泉志穂
(社会情報学科)



山下紗矢佳
(経営学科)



仁木洋子
(健康生命薬科学科)



長谷川裕紀
(共通教育部)

ジェンダー平等推進部門

1. ジェンダー公平と平等を推進する情報発信と普及啓発
2. 本学全体のエンパワーメント推進となる方策や支援の提案
3. 本部門における活動内容の記録蓄積と資料共有



部門リーダー
中村明美
(教育学科)



金谷志子
(看護学科)



三宅弘晃
(英語グローバル学科)



中尾賀要子
(教育総合研究所)

武庫川女子大学 女性活躍総合研究所

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 本館4階407号室

TEL:0798-45-3737 FAX:0798-45-3535

Mail:iwcareer@mukogawa-u.ac.jp

女性活躍総合研究所 HP▶

